特集 乳酸菌・ビフィズス菌・乳酸菌生産物質

50年にわたり殺菌乳酸菌商品を展開
“腸内細菌のパイオニア“、動画配信で情報発信

健康博覧会出展 ブースNo.6E-30

アドバンス

㈱アドバンス（東京都中央区）は、エンテロコッカス・フェカリス『コッカス菌AD101株』やストレプトコッカス・サリバリウス『エルグ菌AD601株』などの、独自菌株を配合したサプリメントの開発、OEM供給を行っている。今月20日開幕する展示会「健康博覧会2024」にも出展し、これまでに蓄積した豊富なエビデンスと、数多くの特許実績に基づいた製品の紹介、菌体原料やOEM供給についてアピールする。

同社は1973年に健康関連商材のベンチャー企業として創業し、50年以上にわたって乳酸菌商品を手掛けてきた腸内細菌のパイオニアメーカー。「腸内細菌」や「腸内フローラ」といった言葉がまだ一般的に知られていなかった時代に腸内細菌の有用性をいち早く見出した。1984年に『AD101株』にコレステロールや血中トリグリセライドの低下作用があることを突き止め、全国紙に「世界初の発見、夢の新薬開発へ」と見出しが躍った。同年、世界に先駆けて『AD101株』を使用した腸内細菌食品『コッカス』を開発した。

『AD101株』は健康なヒトの腸内細菌から分離され、より活性を高める為に特殊熱水処理を行ったヒト由来の死菌体。加熱処理によってヒートショックプロテインなどのグロスファクターが放出されることで、体内摂取後、他の腸内細菌の増殖能を高め、より多様性をもたらすことを確認している。現在、YouTube「コッカスチャンネル」では、腸内細菌講座を配信し、情報発信にも力を入れている。

現菌体ラインアップは「AD101株（*Enterococcus faecalis*）」をはじめ、「AD302株（*Lactobacillus reuteri*）」「AD206株（*Lactobacillus acidophilus*）」、「AD601株（*Streptococcus salivarius*）」の4種の死菌体。

昨年には、主力品『エルグゴールドスペシャル』（顆粒）と、『コッカスゴールドスーパースペシャル』（粉末）の2種類を気軽に体感できる『アソートパック』を発売。ロイテリ菌『AD302株』を使用した口腔環境改善のタブレット商品の開発を進めているほか、腸内細菌飲料『コッカスドリンクロイヤルゴールド』と『コッカスドリンクゴールド』については、機能性表示食品として届出準備を進めている。